

美 楽 舎

会報 第238号 (平成23年8月発行)

東京都中央区京橋 3-9-2 プラザ京橋ビル K's Gallery 内
Tel/Fax 03-5159-0809 メール kgallery@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ <http://bigakusya.com/>

第262回(7月)例会報告

美術展鑑賞 「近代の洋画」「二見彰一版画展」

神奈川県立美術館 鎌倉館・別館

2011年7月10日(日)

参加者 : 小倉(ご夫婦)、北林、澤登
田原、増田、鈴木

<鈴木忠男(幹事)>

例会前日に横浜に行き「蒨谷虹児(ふきやこうじ)展」(そごう美術館)を見て、翌日も横須賀線に乗り鎌倉へ。車内で文庫の続きを開くと偶然にも、その短編は鎌倉から始まっていた(河出文庫「十蘭万華鏡」久生十蘭)、しかも読了後わかったが十蘭は晩年、鎌倉住まいだった。集合時間には5人集まり、小町通りに行く(人通りはまだ少ない方だったが、帰りには若い人達が増えていた)、美術館には小倉一家(3人)がマイカーで来ていた。田原さんは明日で65才、割引き(半額)が効かず、悔しが

っていた。



神奈川県立近代美術館は開館60年で約1万点の所蔵作品があるとのこと、高橋由一「江の島凶」から始まる全65点(前期)、萬鉄五郎「日傘の裸婦」は今日の日傘の増田さんだ、岸田劉生が7点と一番多い、藤田嗣治「二人裸婦」が奥にでんと控える。後期(～10月10日)には松本竣介と麻生三郎が各5点展示される。

別館前では澤登さんのカメラの設置場所が悪く、風が来て1回転して落ちそうになり、隣の喫茶店のマスターが来